

Information

法人・事業所の幹部及び役職者を目指す正職員、急募！

意欲的な人、前向きな人、積極性のある人、実行力のある人、好奇心に溢れている人、社会経験豊富な人、そして、常識のある人を山脈は求めています！

- 【仕 事】 障害福祉総合職
支援業務、職員教育、授産事業の営業・生産管理、法人・事業所の運営に係る業務全般
- 【勤 務】 配属の事業所による。基本は7時～18時の内、連続した8時間（休憩1時間を除く）
- 【休 日】 配属の事業所による。基本は週休2日
- 【給 与】 初任給 月給192,000円～ 勤務評価により昇給
年収 リーダー360万円以上、チーフ400万円以上、マネージャー460万円以上
法人幹部500万円以上
- 【待 遇】 賞与（年3回）、社会保険、退職共済、労働保険、雇用保険、資格手当、役職手当

キッチンハウスみやま お弁当厨房のパート職員、急募！

お弁当の調理をする仕事です。料理が好きな方、待ってます！

- 【仕 事】 就労継続支援B型「キッチンハウスみやま」の宅配弁当事業の厨房の仕事
調理、仕込みなどお弁当の調理
- 【勤 務】 7時～12時
- 【休 日】 土・日・祝
- 【給 料】 時給1200円～
- 【待 遇】 退職共済・労働保険・雇用保険等の加入あり

令和8年度賛助会員受付中！

「山脈」の設立趣旨に賛同し、私達の活動を応援してくれる方を募集します。一口 2,000 円で何口でもかまいません。皆様の温かいご理解とご支援を宜しくお願い致します。

賛助会員 年会費 2,000 円(一口)

山脈ニュースをお届けします

賛助会員になられた方には、毎月、当法人の活動の内容をお伝えする「山脈ニュース」をお届けします。

発 行

特定非営利活動法人 山 脈 理事長 笹澤 賢一

住 所：〒370-3604 群馬県北群馬郡吉岡町大字南下 983-2

電 話：0279-54-2947 FAX：0279-54-9171

E-mail：rep@npo-yamanami.jp

URL：http://www.npo-yamanami.jp/

運 営 就労継続支援B型事業所「みやま工房」

就労継続支援B型事業所「麦のゆめ」

就労継続支援B型事業所「キッチンハウスみやま」

グループホーム「ハーモニーやまなみ」1号・2号・3号・5号・6号

（文責：笹澤賢一）

NPO

法人

山脈ニュース

2026.4

No.273

就労継続支援B型、時間割の導入を1年後に控えて

全国各地にて桜の便りが聞かれ、いよいよ新年度がスタートしました。令和8年度は山脈にとって大きな荒波を目の前にした年となります。それは、1年後の令和9年4月に行われる報酬改定にて山脈の主となる障害福祉サービスである就労継続支援B型に時間割報酬の導入が予定されているためです。

現在、就労継続支援B型の基本報酬は日割報酬であり、利用者の利用した日数に応じて計算されていましたが、時間割報酬の導入により利用した時間に応じた計算に変わります。つまり、時間割になると半日利用などの短時間利用の利用者を抱える事業所は減収します。ただでさえ障害福祉施設の職員の低賃金により職員不足が全国的な問題となっている状況でこれは受け入れがたい報酬改定です。

就労継続支援B型は一般企業等に就職することが困難な障害のある方を対象としているため、通所時間については柔軟に対応してきました。企業への就職のステップと考え、その準備として利用される方のように1日通所される方、まだ通所の困難な方は半日通所や短時間通所など、利用者の目的や障害の状態などにより通所時間も様々です。特に精神の障害のある方の中には、日々、気分や体調の変動があり、通所が安定しない方も多くいます。

そして、障害福祉サービスは利用者個々に個別支援計画の策定が義務付けられています。個別支援計画はサービス管理責任者が中心となり、モニタリングなどの本人の聞き取りや関係者を集めた個別支援計画に掛かる会議などを経て作成されます。また、ひとりひとりの支援については、その方の情報の共有や日々の支援会議などがおこなれます。これらの業務の負担は利用者の通所時間の長さに比例しているわけではありません。つまり、ひとりひとりの支援にかかる費用は単純にその人の通所時間ではじきだされるものではありません。

しかし、国は障害福祉サービス費を抑制するために利用者の通所時間に目を付け、時間割方式に着手しようとしています。時間割が導入されると、最近、急増している福祉理念から逸脱した儲け主義の一部の株式会社等が運営する就労継続支援B型での短時間通所の利用者の閉め出しも危惧されます。

山脈はあきらめず時間割導入に反対の声をあげると同時に、その影響を最小限とする対応を検討していきます。

令和8年度、山脈のフラットな組織に向けた新たな試み！

山脈の目指す「フラットな組織」とは、トップダウンによる受動的な組織からの脱却です。それは職員ひとりひとりが山脈において自分の果たす役割を意識し、何をすべきかを考え、自走できる職員の集団です。そのために、職員の皆さんと山脈の現状を共有し、そして、その運営に積極的に関われるように新たなプロジェクトが発足しました。

【自由想造委員会】

自由想造委員会は、山脈の幹部である理事長・事務局長、マネージャー（管理者）と、今後の山脈の幹部候補であるチーフ・リーダーから構成される会議体です。山脈の幹部と現場の中心となるチーフ・リーダーとで今後の山脈の方針や現状課題などを共有し、山脈の運営についてチーフ・リーダーの声を反映させる機会となります。

また、チーフ・リーダーを通じて山脈の方針等が現場により深く浸透することも期待しています。

プロジェクト名は、既存概念に捉われず自らの意思をもって行動することで、想（イメージ）し、造（クリエイト）することを目指し命名されました。自由な発想・想像力を発揮していきたいという思いが込められています。

【未来プロジェクト】

未来プロジェクトは、チーフ・リーダーが中心となり、自由想造委員会で共有された山脈の方針の具体的な実現や現状課題の対策などについて検討・実行するための会議体です。チーフ・リーダーの他に、正職員・パート職員に限らず全ての職員が参加できます。検討・実行する内容は職員研修、新年会などの福利厚生、地域交流事業など多岐に渡ります。未来プロジェクトを通じ、全ての職員が山脈の運営に携わる機会となります。

プロジェクト名は、未来を見据え、職員ひとりひとりが主役となるフラットな組織実現のため、トップダウンではなく、現場から問題提起、業務改善の声をあげ、職員により企画・運営・実行ができる組織を目指し命名されました。

2月20日（金）街頭署名運動「がんばるデー」を実施しました！

きょうされんの第49次国会請願署名・募金運動の一環として今年も高崎駅東口で街頭署名「がんばるデー」を実施しました。今回は3か所の会員事業所が参加し、利用者15名、職員7名、総勢22名で行いました。みんなで大きな声で駅を往来する方々に署名と募金のお願いの呼びかけを行いました。みんなの呼びかけに足を止め、署名や募金をしてくれた方々には心より感謝の気持ちでいっぱいです。1時間と短い時間でしたが9名の方が署名に協力して頂きました。また、募金は4125円も集まりました。このお気持ちは5月に行われる霞が関の衆参の議員会館を訪問する請願行動にて国会議員の方々に届けます。

街頭署名の後は、毎回、恒例となりました支部の交流会です。今回は、ヤマダ電機ビルのレストラン街にあるサイゼリアに行き、署名の感想などを聞きながらみんなで食事をしました。

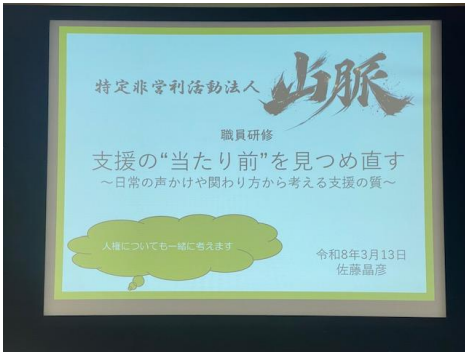
～ 街頭署名運動「がんばるデー」に参加された仲間の感想 ～

- 大きな声を出せた。その声で募金をしてもらえた。(みやま工房 利用者)
- くわのみの仲間に会えたことが嬉しかった。交流会でお昼と一緒に食べられ、お話もできて嬉しく楽しかったです。食事美味しかったです。(みやま工房 利用者)
- とてもいい経験になりました。楽しかったです。お昼も美味しかったです。(みやま工房 利用者)
- 高崎駅東口でみやま工房の利用者と職員の7名と他のB型の事業所の方たちと署名・募金活動を行ったが、6名ほどの方が募金をしてくださいました。中には1000円札の方もいらっしゃいました。時々、感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。(みやま工房 利用者)
- 参加してくれた利用者さん達、頑張って声を出してくれました。笑顔が多く見られました。募金をしてくれた人が多く見られました。(みやま工房 職員)
- 世界中が冬季オリンピックで盛り上がる中、2月20日（金）、高崎駅東口で行われたきょうされんの街頭署名・募金活動に参加しました。平日の午前中ということもあり人通りはそれほど多くありませんでしたが、利用者さん達は大きな声を出して、協力を呼び掛けていました。今迄、お願いされる側の立場でしたが、初めてお願いする側の立場を経験して街頭に立つことの難しさを痛感しました。そんな中、利用者さんの熱意が通じたのか、足を止め募金や署名をして下さった皆様には感謝しています。その方々の気持ちを無駄にしてはいけないと思います。これからも障害のある方が働きやすく生活しやすい社会になる様、このような機会があれば参加したいと思います。(みやま工房 職員)
- 楽しかった。街頭署名の後のサイゼリアも美味しかった。(キッチンハウスみやま 利用者)
- 楽しかった。大きい声、がんばった。(キッチンハウスみやま 利用者)
- 色々な施設の方とも交流ができて良かった。(キッチンハウスみやま 職員)
- 緊張しました (くわのみ 利用者)
- 楽しかったです (くわのみ 利用者)
- 初めてで緊張したけど、楽しかったです。(くわのみ 利用者)



3月13日（金）、令和7年度法人内研修を実施しました。

3月13日（金）、山脈の法人内研修が行われました。今回の研修は、発足したばかりの未来プロジェクトの構成メンバーの職員が中心になり、会場の手配をし、研修のテーマを決め、講師の方と打ち合わせを重ね、実施されました。今回は、「支援の”当たり前”を見つめなおす ～日常の声かけや関わり方から考える支援の質～」と題し、山脈の理事を務めるよしおか相談支援事業所の相談支援専門員の佐藤晶彦氏を講師に迎え、ロールプレイやグループ討議も交え、とても有意義な研修となりました。ひとりひとりが、法人の目指す支援者像「圧倒的サポーター」として、明日から実践できるヒントを持ち帰ることができたと思います。



山脈のみんなの癒しの存在、さくらねこ🍀🐾のご紹介

山脈の敷地にはいつからか猫が住み着くようになりました。職員、利用者にも懐いています。しかし、次第に1匹、2匹と増え、更に新しい子猫も生れ、数が増えてしまいました。何匹かの子猫は猫好きの職員が引き取ったりしましたが、その後も増え続けてしまうのでちょっと困ってしまいました。そこで行政や愛護協会等に相談し、さくらねことして暮らしてもらうことにしました。去勢・避妊手術の費用は自治体の補助金と職員と利用者のカンパにより工面しました。今は4匹の猫たちが暮らし山脈のみんなを癒してくれています。

さくらねことは、飼い主のいない猫に赴任手術を実施することで繁殖を防止し、「地域猫＝さくらねこ」として、飼い主のいない猫に関する苦情や殺処分減少に寄与する活動です。不妊手術済の目印として猫の耳先をVにカットします。カットした耳をさくらの花びらに見立てさくらねこと呼ばれます。耳先カットは命の尊厳と「この猫のうしろには世話をする優しい人がいる」というしるしです。



チビ



クロ



ミケ



トラ



さくら耳になったトラ



さくらねこになるために保護されました